

令和 2 年度(2020年) 拓殖大学地域連携センター事業報告書



拓殖大学地域連携センター（八王子事務部）

○令和2年度（2020年）地域連携センター事業報告書

1. 八王子実践高等学校×拓殖大学「連携授業説明会」

11月4日（水）9：30～14：00

貸切バスで来校：生徒196人、教員10人 於：八王子国際キャンパスC館全教室

<日程> ※使用教室C101、C2101、C202（高校教員控室）

C102（バレーボール部食事）

○9：30～9：35

※進行：鶴木則夫審議役（C101）

1. 「開会挨拶」

荒川正彦審議役（C201）

山田政通副学長

※両教室共

○9：35～10：05

2. 「拓殖大学紹介～商学部・政経学部・外国語学部・工学部・国際学部～」

A班：稲富直樹入試部長（入学支援センター事務部）

B班：佐久間紀章氏（入学支援センター事務部入学課）

★10：05～10：15（10分）

休憩

○10：15～10：55

3. 「高大連携講座：模擬講座①」

A班：「楽しく学んで Improve Your English Skills！」

担当講師：小島和枝講師

B班：「楽しく学ぶ口頭表現の技法」

担当講師：小田貴子講師

★10：55～11：10

休憩

○11：10～11：50

4. 「高大連携講座：模擬講座②」

A班：「楽しく学ぶ口頭表現の技法」

担当講師：小田貴子講師

B班：「楽しく学んで Improve Your English Skills！」

担当講師：小島和枝講師

★11：50～12：00

休憩

○12：00～12：30

5. 「A511教室見学」※アクティブ・ラーニング対応教室

★12：30～13：30

昼食

○13：30～14：00

6. 「留学生との交流（体験談）」 ※15分で教室を交代します。

◇工学部 機械システム工学科4年

ヴォノック タン トウン（ベトナム）

◇国際学部 国際学科2年

オンジー ウェイ（マレーシア）

◇検温機材設置2台

◇手指消毒液 各教室2台

<配付資料>

1. パンフレット「拓殖大学2021」

2. 大学選びのためのワークシート

○記念品（総務課：120周年クリアファイル）

○記念品（入学課：拓大名入りボールペン）

○飲料水（拓大オリジナルのお水）

○お茶バック（昼食時）



（山田副学長）



(小島講師)



(小田講師)

●「高大連携講座」関連行事

- (1) 八王子実践高等学校×拓殖大学「高大連携講座説明会(教員対象)」
 8月31日(月) 14:30～16:00 於) 八王子国際キャンパス
- | | |
|------------------|-----------------|
| 高校: 校長補佐 三宅慎太郎先生 | 学年主任 武田明日香先生 |
| 総合進学コース 諸江吉則先生 | 1年14組担任 松浦悠喜子先生 |
| 1年15組担任 金子健人先生 | 1年16組担任 久保溪大先生 |
| 1年17組担任 畑中亚由美先生 | 1年18組担任 坂元大輔先生 |
| 教務部長 風間正彦先生 | 教務主任 伊藤和彦先生 |
| 教務副主任 齋藤仁隆先生 | |
| 大学: 常務理事 河田昌一郎 | 副学長 山田政通教授 |
| 講座担当 小島和枝講師 | 講座担当 小田貴子講師 |
| 八王子事務部長 上條聡視 | 八王子事務部審議役 鶴木則夫 |
| 八王子学務課長 加藤秀紀 | 八王子事務部審議役 荒川正彦 |

<内容>

1. 開会挨拶 (5分)
2. 高校ご挨拶 (5分)
3. 大学紹介 (15分)
 - ※「拓殖大学の歴史」をDVDビデオで上映します。
 - ※「拓殖大学の現在」につきましては机上の“拓殖大学2021”をご参照ください。
4. 「高大連携講座」概要説明(20分:各10分)
 - (1) 「楽しく学んで Improve Your English Skills!」
 担当講師: 小島和枝講師 ※実施時限: 第1時限 9:20～10:50
 - (2) 「楽しく学ぶ口頭表現の技法」
 担当講師: 小田貴子講師 ※実施時限: 第2時限 11:00～12:30
5. 質疑応答 (20分)
 - ※ 終了後、教室見学へ向かいます。会議室には戻りません。
6. 教室見学 (20分)
 - ※使用予定教室: アクティブ・ラーニング対応教室
 - A511 (収容定員100名) ※令和3年度、4年度使用予定
 - A512 (収容定員100名) ※令和4年度使用予定
7. 閉会挨拶 (5分)

(配付資料)

1. パンフレット “拓殖大学2021”
2. 「高大連携講座」<令和3(2021)年度実施案>
3. 八王子国際キャンパス案内図
- 記念品 (ボールペン)



(2) 八王子実践高等学校×拓殖大学「高大連携講座」打合会

令和3年2月20日(土) 14:30～16:00 於) 管理研究棟第三会議室

高校：三宅慎太郎先生(校長補佐)	小出幸彦先生(教頭)
風間正彦先生(教務部長)	伊藤和彦先生(教務主任)
衣笠 愛先生(英語科主任)	金子健人先生(英語授業担当)
武田明日香先生(国語授業担当・国語科主任・学年主任)	
諸江吉則先生(総合進学コース主任)	
大学：河田昌一郎常務	井上康信理事
山田政通副学長	
小島和枝講師(講座担当)	小田貴子講師(講座担当)
上條聡視八王子事務部長	杉本 栄八王子総務課長補佐
加藤秀紀八王子学務課長	荒川正彦八王子総務課審議役

◇検討内容

- ①授業引率担当者の紹介
- ②年間授業回数や内容などの詳細について
- ③評価方法について(小テストの回数、実技テストの回数など)

※高校：総合進学コース国際教養クラスを選択した生徒は67名であり、この生徒が「高大連携講座」を受講する。

(提出資料)

高校：打合せ内容検討案

大学：①令和3(2021)年度「高大連携講座」シラバス

②高大連携講座アンケート(検討案)



2. 高尾登山電鉄株式会社「社員英語研修」への講師派遣(継続事業：3年目)

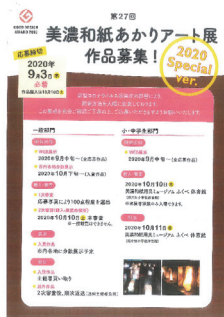
派遣講師：小島和枝講師(政経学部非常勤講師)

※コロナ禍で対面形式の研修がなかった時期に社員からの現場での英語表現の質問及び緊急放送の英訳等を実施した。

尚、9月8日(火)より対面形式での現場研修(猿園：週2回2クラス)を開始した。10月16日(金)で一旦終了となる。

※依頼文書名：「高尾山における外国人対応に関する連携ご協力継続のお願い」

3. 「第27回美濃和紙あかりアート展」阿部眞理教授（工学部）・白石照美教授（工学部）応募締切日：9月3日（木）
 ※応募全作品：9月下旬からWEB展示
 ※WEB展示：一次審査（写真にて）（◆103点が第二次審査へ進む：本学から18点応募し、8点が第二次審査へ進む）
 ※10/10（土）：第二次審査
 入賞作品は10月下旬から市内各地で分散展示（主催者買い取り）。選外作品は返送（返送料主催者負担）。
 ◆本学作品結果：入賞作品なし（主催者買い取り作品4点）



4. 内閣府地方創生推進室支援事業「地方と東京圏の大学生対流促進事業」（3年目）
 <令和2年度事業>
 ①笛吹市ひねみ地区活性化プロジェクト（山梨県立大学）
 ②空き家で「つながる住まい」プロジェクト（山梨県立大学）
 ③「ハタチの畑」プロジェクト（拓殖大学、山梨県立大学）
 ④芦川活性化えんさプロジェクト（拓殖大学、山梨県立大学）
 ⑤甲府市リノベーションまちづくり活動の整理と情報発信（拓殖大学、山梨県立大学）
 ⑥まちづくり合同ゼミ「新しい地方創生のカタチづくり」プロジェクト（拓殖大学、山梨県立大学）
 ※上記6事業は両大学に於いて「正規授業科目のテーマ」として展開されている。
 なお、3年目となる今年度は補助金の支援はない。

<事業連絡会議>

- ①「事業連絡会議（第一回）」
 6月11日（木）Web会議
 ※今年度事業の現状について
 ②「事業連絡会議（第二回）」
 9月30日（月）Web会議
 ※今年度事業の進捗状況について
 ③「事業連絡会議（第三回）」
 12月10日（木）Web会議
 ※来年度事業計画について
 ④「事業連絡会議（第四回）」
 令和3年2月15日（月）Web会議
 ※今年度事業報告会

<具体的取組>

- [1] 竹下正哲教授（国際学部）
 ③「ハタチの畑」プロジェクト
 令和2年4月～令和3年1月
 （1）北野市場（八王子卸売りセンター）における活動
 北野市場は、創業50年、28店舗で構成されている。この歴史ある市場内で

の活動内容は、專業販売店の協力を得て市場の調査、来客者へのアンケート調査、古い市場の改装計画、場内でのイベント計画等を手掛け、市場の活性化に向けた提案をまとめ上げた。

(2) ハタチのプロジェクト

山梨県内の耕作を放棄した畑を果樹園にするもので、拓大生、県大生と Playest Japan (地元果樹園経営者団体) と合同で取り組んだプロジェクト。このプロジェクトを支援してもらうクラウドファンディング起ち上げに先駆けて、SNS で宣伝を活発に行いプロジェクトの認知度を広める事に力を注ぎ、現在、コロナの影響で現地での活動ができないが、状況等が好転したらクラウドファンディングの開始や後輩に引き継ぐための仕組み造りを検討している。

(3) HULT PRIZE への参加

HULT PRIZE とは、決められたテーマに対して、大学生同士が社会問題解決に向けたビジネスアイデアを競い合う世界最大のキャンパスコンペ。世界で30万人以上の大学生が参加していて、今年は拓殖大学も参加した。令和2年度のテーマ「食について」で、竹下ゼミは5チームが参加し、1チームが見事1位になり、次は、地区予選に進出する予定である。

[2] 徳永達巳教授 (国際学部)

⑥「新しい地方創生のカタチづくり」プロジェクト

令和2年10月15日(木)～17日(土)

(概要)

山梨県富士川町にある既存のふるさと納税返礼品をより魅力的なコンテンツにするべく町役場と協力して新規ふるさと納税の実施に取り組むものである。今回は新規返礼品の検討と返礼品ガイドブック作成にあたり、協力して頂ける店舗や施設の方と面談を行い、現地の情報収集とニーズを確認するものである。

5. 文部科学省補助事業「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」

山梨県立大学は「VUCA 時代の成長戦略を支える実践的教育プログラム」の事業名称で申請応募し、本学は「事業の一部に協力する大学」として参加することになった。補助金支給期間は最大5年間であるが、本学は協力大学であることから山梨県立大学 が採択されても補助金の支援はない。

◇採択結果：令和2年10月14日(水)：鶴木審議役(八王子事務部)

山梨県立大学より電話にて「採択された」との連絡があった。

※具体的な事業への協力は11月末現在ない。

※VUCA：社会やビジネスにおいて将来の予測が困難になっている状態を示す造語です。予測が困難な要因として四つの時代の特性をあげ、頭文字を取って作られました。V：Volatility (変動性)、U：Uncertainty (不確実性)、C：Complexity (複雑性)、A：Ambiguity (曖昧性)。元々、冷戦終結によって従来の核兵器ありきの戦略から不透明な戦略へと変わった1990年代の状態を表す軍事造語でした。その後、2010年代に入り、変化が激しく不確実な社会情勢を指して、VUCA という言葉が転用されるようになったのです。(YAHOO 調べ)

6. 岩手県盛岡市「文京区学生と創るアグリイノベーション事業」について

前山利幸教授(工学部)、佐々木整教授(工学部)、田嶋規雄教授(商学部)

事業内容：岩手県盛岡市が進める玉山地区の農業振興を目的とする同地域の持続可能な農業ビジネスの策定。平成31年2月に盛岡市と文京区が「友好都市提携」を締結していることから、文京区内大学の学生と連携して事業にあたりたい。

実施期間：当初は令和2年4月1日か～令和5年3月31日(3カ年)であったが、コロナ禍で延期となっている。令和3年4月より事業再開の予定である。

※今年度は前山教授が中心となり市担当者とのメールでの情報交換を通じて市の方針などの確認を行っている。

①オンライン会議：9月30日(水)。跡見学園女子大学、東京大学、東洋大学が次年度実施の場合の参加意志を明確化している。

②市担当者の来校：11月19日(木)。市担当者(勝又氏)が文京キャンパスに

来校予定であったが、コロナ感染者の急増（第3波）で急遽中止となる。

7. 八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部文化財課との協働プロジェクト

「八王子市城跡の魅力を高めるデザインプロジェクト」

工藤芳彰教授（工学部）

事業内容：八王子城跡は、同市の文化庁「日本遺産」認定ストーリーの主要構成要素の一つであり、長期的な観光地整備が予定されている。デザイン学科工藤研究室を核とした学生ボランティア CDS と3年次「デザインプロジェクト・演習」工藤担当課題選択者は、当地を「未来の地域コミュニケーション・ハブ」と位置付け、新型コロナ禍による活動制限を踏まえた安全性の高い屋外でのフィールドサーベイおよび遠隔ミーティングを通して、その魅力を高めるデザイン提案に取り組んだ。※成果報告書を制作する。

実施期間：令和2年3月10日～令和3年1月31日

8. ガイドブック作成への協力

6月12日（金）：八王子市内に残る「戦跡ガイドブック」作成に伴い監修者の一人である齋藤勉氏（東京都立東大和南高等学校教諭）が、招魂社、脇光三碑、招魂碑を調査（写真撮影など）に八王子国際キャンパスに来校された。尚、ガイドブックは揺籃社から8月1日「八王子の戦跡」として上梓された。



◎地域連携センター「正副センター長会議」

日時）令和3年3月10日（水）14時～

場所）八王子国際キャンパス管理研究棟3階「第三会議室」

議題）1. 令和2年度事業報告

2. 令和3年度へ向けた社会連携・社会貢献の方針の再確認

3. その他

出席）河田昌一郎常務（担当理事）

川名明夫学長（センター長）

山田政通副学長（副センター長）

上條聡視部長 杉本 栄課長補佐

佐原隆幸教授：国際学部（副センター長）

鵜木則夫審議役 荒川正彦審議役

◎「拓殖大学社会連携・社会貢献の方針」

平成26年1月策定

平成30年6月改定

拓殖大学社会連携・社会貢献の方針

拓殖大学は、大学は公共的役割を担う存在であるとの重要性を認識し、積極的に大学情報を国内外に発信すると同時に大学が有する教育・研究の成果、各種施設、ネットワーク等の知的・物的資源の社会への還元を進めていく。

拓殖大学は、これまでも社会の要請に応えるべく、社会連携・社会貢献や国際

社会への協力・貢献にも目を向け、種々の施策を進めてきた。

具体的には、大学間及び高大連携、自治体との共催や連携の講座開設、区民や市民大学への講座科目の提供、本学の特色を生かした海外派遣・公開講座・資格取得講座の開設、また、地域社会との連携を目指しての地域行政機関への協力、企業との連携、地域の各種イベントやスポーツ大会を通じた本学学生・外国人留学生と地域住民との交流、教育施設や運動施設の開放などである。

さらに、学生の海外地域活性化プロジェクト参加やボランティア活動参加が、将来の社会の担い手となる学生の国際性や公共へ寄与する意識の醸成に有意義であることから、引き続き推進していく。

また、社会連携・社会貢献を含め教育・研究の展開には、その裏付けとなる財政基盤の確立・充実は不可欠であり、拓殖大学の自主的財源の確保の観点から、その経済的支援の拡大にも努めていく。

拓殖大学の目指す方向は、グローバル化が進展する社会において、国際的視野で地域社会の課題解決にも貢献できる「社会に開かれた国際大学」であり、地域社会と共生し、地域社会から信頼される存在となることである。

◎令和２年度 地域連携センター会議委員

1.	センター長	学 長	川名明夫
2.	副センター長	副学長	山田政通
3.	副センター長	国際学部教授	佐原隆幸
4.	委 員	商学部准教授	松橋崇史
5.	〃	政経学部教授	山本尚史
6.	〃	外国語学部教授	関口美幸
7.	〃	外国語学部教授	藤本淳史
8.	〃	工学部教授	工藤芳彰
9.	〃	工学部准教授	永見 豊
10.	〃	国際学部教授	竹下正哲
11.	〃	国際学部教授	徳永遠己
12.	〃	八王子事務部長	上條聡視（事務統括）
13.	〃	八王子総務課長補佐	杉本 栄（事務担当）
14.	〃	八王子学務課長	加藤秀紀（教学関係担当）
15.	〃	八王子学生支援室長	橋本知子（学生関係担当）
16.	〃	八王子国際課長	宇佐美俊之（留学生関係担当）
17.	〃	八王子事務部審議役	鶴木則夫
18.	〃	八王子事務部審議役	荒川正彦

●「拓殖大学地域連携センター」（Regional Liaison Center）について

本学の教育・研究成果の知を基盤として国内外の地域社会との交流及び活性化に貢献すること、また、学外諸機関とも連携して学生の実践的学修に資することを目的として、平成30年4月1日に八王子国際キャンパスに設置致しました。

尚、同センターの主な事業は、下記の通りです。

1. 地域社会及び学外諸機関との連携・交流・協働に係る活動の推進に関する事項
2. 地域社会及び学外諸機関との連携に係る協定作業に関する事項
3. 地域社会の課題等についての調査・研究に関する事項
4. センターの情報発信に関する事項
5. その他センターの目的を達成するために有益な事項

○令和２年度（２０２０年）拓殖大学地域連携センター事業報告書

- １．八王子実践高等学校×拓殖大学「連携授業説明会」（生徒対象）
 - 「高大連携講座」関連行事
 - （１）八王子実践高等学校×拓殖大学「高大連携講座説明会（教員対象）」
 - （２）八王子実践高等学校×拓殖大学「高大連携講座」打合せ
- ２．高尾登山電鉄株式会社「社員英語研修」への講師派遣（継続事業：３年目）
- ３．「第２７回美濃和紙あかりアート展」
- ４．内閣府地方創生推進室支援事業「地方と東京圏の大学生対流促進事業」（３年目）
- ５．文部科学省補助事業「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」
- ６．岩手県盛岡市「文京区学生と創るアグリイノベーション事業」
- ７．八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部文化財課との協働プロジェクト
「八王子市城跡の魅力を高めるデザインプロジェクト」
- ８．ガイドブック作成への協力
 - ◎地域連携センター「正副センター長会議」
 - ◎「拓殖大学社会連携・社会貢献の方針」
 - ◎令和２年度 地域連携センター会議委員
- ９．拓殖大学地域連携センター「出版物」
 - （１）平成３０年６月３０日
 - 「拓殖大学地域連携センター設置記念 公開座談会『拓殖大学と地方創生』」

(2) 平成31年1月20日

「拓殖大学百科（工学部編）社会・地域に貢献する研究」

(3) 平成31年4月22日

「平成30年度 拓殖大学地域連携センター事業教員事業報告書」

(4) 令和元年5月31日

「拓殖大学百科（外国語学部編）社会・地域に貢献する研究」

(5) 令和元年5月31日

「拓殖大学百科（国際学部編）社会・地域に貢献する研究」

(6) 令和元年9月30日

「拓殖大学百科（工学部編Ⅱ）社会・地域に貢献する研究」

(7) 令和2年4月1日

「令和元年度（平成31年度）地域連携センター事業報告書」

(8) 令和3年4月1日

「令和2年度拓殖大学地域連携センター事業報告書」

● 「拓殖大学地域連携センター」 **(Regional Liaison Center)**

拓殖大学地域連携センター（八王子事務部）
（令和3年4月1日）

地域社会と共に



TAKUSHOKU UNIVERSITY

■拓大学は、公共的役割を担う存在として、地域社会と共生し、地域社会から信頼される存在となるよう、地域社会が大学に何を求めているかを具体的に把握し、本学が何ができるかを検証し、地域貢献事業を積極的に展開していきたい。